

だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里

「だいち」広報委員会

〒349-0101

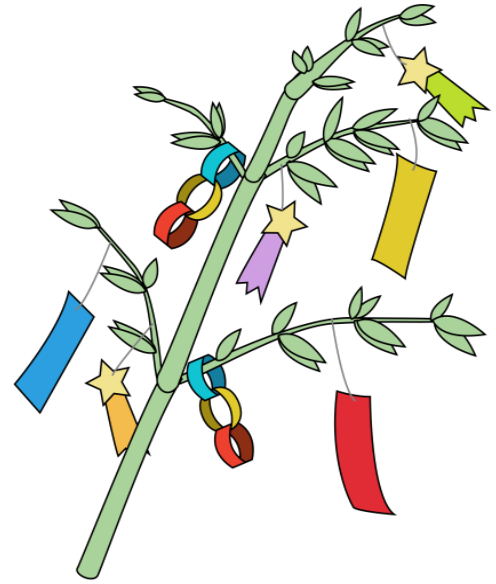
埼玉県蓮田市黒浜1045-1

TEL 048-764-3881

FAX 048-764-7788

H P <http://minuma-hukushi.com/>

ふたふた



書 関口忠司

巻頭コラム

みなさん、こんにちは。近藤優香です。

5月29日からまた大地で働かせて頂くことになりました。1年振りの仕事で、子育てと仕事をちゃんと両立出来るか不安と心配でいっぱいですが、また一から頑張りたいと思いますので、これからまたよろしくお願いします。

仲間のみなさんとまた一緒に沢山お話ししたり、楽しいことを共有して沢山思い出を作っていきたいです。

1年間ぽっかり空いてしまい、分からないことだらけなので、仲間の皆さん・職員の皆さんご指導をよろしく願います。

近藤 優香(職員)



運動会

5月30日（火）に第10回大地運動会が行われました。当初は外で開催する予定でしたが、まだ5月というのに真夏日が続き、当日は気温30度の予報ということで、外で開催するのを断念し、室内で行うことになりました。

今年も紅白に分かれて対決！1回戦目は借り物競争。みんなお題に沿って一生懸命探していました。みなさん審査員の前で合格の判定をもらおうと猛アピール！周りの観客も多いに笑わせていただきました。

2回戦目は大声大会。恥ずかしくてなかなか声が出ない仲間もいましたが、日頃思っている言葉を口に出せるいい機会だったのではないでしょうか。黒澤さんの「真っ白な心で頑張るぞー!!」に

はみんなから「えー?!」の声がありました。そして3回戦目は、全員参加のだるま回しリレー。ボールを早く渡そうとする仲間や、わざとゆっくり回す仲間などそれぞれが楽しみながらボールを回していました。



4回戦目は的当て大会。初参加の戸谷さんと北原さん。しっかり狙いを定めて的に当てることができました！二人とも大活躍を

てくれました。

そして成績発表。今年の優勝は白組でした！優勝にはなりませんでしたが、赤組のみなさんも頑張りました！お疲れ様でした。

今年の運動会もたくさん笑って笑顔の多い運動会を開催することができてよかったです。ご家族の方もたくさんご参加いただきありがとうございました。

小田嶋 里佐（職員）



日帰り旅行・温泉

6月6日、笹田さん、田嶋さん、諸岡さん、田嶋さん母、諸岡さん母、高崎さん、野村さん、大谷で日帰り温泉旅行に出掛けました。当日は梅雨入り前で天気も快晴。

みんなに「行ってらっしゃい」と見送られ大地を出発しました。目的地は飯能の「あじさい館」の温泉です。車内では、諸岡さんが助手席に座り、助手として張り切って、ドライブを楽しんでいました。あじさい館に到着し、あじさい館は、山の中にあり蓮田よりも少し涼しく清々しい陽気でした。



日帰り旅行・海

早速のお昼は、山の幸など様々なご馳走が並び、みんな「おいしう」「すごいね」と目をキラキラさせながら満腹になるまで食べました。続いている温泉タイムでは、貸切風呂に笹田さん、田嶋さん、諸岡さん3人で一緒に入りました。「気持ちいいね」や「温泉はいいね」の言葉もあったまっている表情など、皆それぞれリラックスして温泉を満喫したようでした。その後は、あしがくぼ果樹園により、おいしいおみに特産品のお土産を買ったり、散策したりと、のんびり過ごしました。また、名物の「*たらしやき」をみんなで食べ、帰途につきました。まったり、のんびり「満腹」な温泉旅行になりました。

*生地をたらして焼く小麦粉料理

大谷 俊博（職員）

6月20日、日帰り旅行に行きました。今回の旅の目的は、美味しい海鮮を食べることと船に乗ることです。メンバーは、圭三さん、北原さん、白幡さん、高山さん、安藤さん、篠原さん、黒澤さん、北原母、圭三母、高山母、篠原姉、金子さん、松崎さん、藤村さん、面来の計15名です。

まず最初にフェリー乗り場近くの「海辺の湯・漁師料理よこすか」へ行きました。ここではみんな好きな物を頼み、まぐろ丼やお刺身、天ぷらを楽しみました。中でも篠原さんの注文した「自分で中落ち丼」は、その名の通り自分でまぐろの身をそぎ落とし好き勝手に丼にするもので、味はもちろん見た目も楽しめる、篠原さんも満足の一品でした。



お腹を満たし各自お土産を購入した後は、いよいよフェリーに乗船です。何ヶ月も前から楽しみにしていた安藤さんは松崎さんにおぶってもらい3階まで行き、船長さんに挨拶をしたりと大興奮。高山さんや北原さんは母とのんびり海を眺めながら潮風を感じ、とても気持ち良さそうでした。白幡さんや圭三さんも穏やかな表情で乗っていて、2人ともニコニコしていることが多かったように思います。

黒澤さんは「東京湾フェリーは3回目だよー」なんて言いつつ、「何回乗っても気持ちが良いね」と背筋を伸ばして風を感じている様子がとても印象的でした。

今回の旅行は梅雨時にも関わらず天気にも恵まれ、絶好のフェリー日和となりました。大地とはまた違った仲間の様子も見ることができ、とても良い旅行だったなと思います。

面来 愉（職員）



みぬま福祉会

後援会総会に参加しました

6月7日交流センターホールにて、

「みぬま福祉会後援会第37回定期総会」

が行われました。大地の仲間からは、

後援会担当・仲間部会代表として栗原さんが参加しました。

今年度、みぬま福祉会後援会は30

周年を迎え、記念の集い、記念誌発行、

記念樹の植樹の3つの催しが企画され、

無事に行うことができたという活動報

告から始まりました。物品販売や各ま

つりへの参加、風のコンサートや夏川

りみさんを迎えた1月のみぬまコン

サートの報告、障がい者制度や憲法に

ついての学習会開催、組織拡大に向け

ての取り組み等々、新しい暮らしの場

に向けた活動や社会保障の切り捨てと

制度改悪に反対する力強い運動の報告、

そのために大きな輪をもっと広げてい

きましょう、たくさんの人たちと共同

して求めていきたいと思います、思いと願

いをもとに更なる団結ができた定期総

会だったと感じました。

□数も少なく、緊張気味の栗原さん。

いよいよ出番です。暮らしの準備備会

「仲間部会」の報告です。ホールの壇

上には川口にできる新しい入所施設の

居室のイメージが配置されています。

各施設から仲間が集まり、これまで

仲間部会で話し合われた意見報告がさ

れました。「トイレにもナースコール

があると安心。トイレからも話せた方

がいい」と車イスの仲間も安心して使

えるトイレについて栗原さんは報告し

てくれました。明るい大地の会が中心

となって、大地での生活を振り返り意

見を出し合いました。みんなの思いが

形になる日ももうすぐです。仲間・家

族・職員、みんなの更なる団結で新し

い施設作りを進めていきたいと思います。

金子 知幸（職員）

きょうされん国会請願行動

5月25日、きょうされんの第40

次国会請願署名を持って国会請願へ

行きました。参加をした仲間は嶋さ

ん、鈴木さん、職員は北隅さん、松

浦の4名でした。当日はきょうされ

ん加盟施設の仲間・職員が多く参加

しており、それぞれがチームを組ん

で議員室を訪問しました。10名程の

議員室を回りましたが、残念な事に

議員の方には一人も会えず、代わり

に秘書の方と話をしてきました。

嶋さんは自分だけでなく他の仲間達

の生活の事も代弁しながら、「同世代

同地域の人達と同等の生活がしたい」

と訴えてくれました。また、鈴木さ

んは署名を手渡す役割を担ってくれ

て、秘書の方に受け取ってもらおう

と頑張ってくれました。

今回の署名の請願項目に入所施設

の必要性は入っていませんでしたが、

みぬま福祉会では現在新たな暮らし

の場作りを進めているにあたり、埼

玉は入所施設待機者が多い事、国は

「施設から地域へ」と言っているが

施設から出るだけでは地域生活とは

言えない事、入所している大地の仲

間達は活動を通じての共同共感を積

み重ねながら大切な人・大切にしてい

くれる人を育み、(量的な課題はある

が)週末は買い物・映画・外食など

へ出掛け、必要な時は病院へもすぐ

に行っている。大地の仲間達みんな

が安心して暮らししているし、それこ

そが地域生活を送れている証だと訴

えてきました。

今回の請願で情勢が大きく変わる

とは思えませんが、このような運動

を積み重ねていく事が大切だと思い

ました。

松浦禎洋（職員）

新任研修に参加して No.1

6月23日から一泊で新任研修が行われました。新任研修ではみぬま福祉会の歴史や家族の想い、みぬま福祉会で働くにあたって大切にしたいこと等、たくさん話を聞きました。そして、仲間からのメッセージでは、法人を代表して大地の岩崎哲也さんと土屋莉恵さんからお言葉を頂きました。事前に新任職員の為に考えてくれたお二人の話はとても心に響きました。本当に良かったです。

また、他施設の同期ともお互いの施設の話や働いてからの現況報告、悩み等も共有することが出来ました。頑張っている皆さんの話を聞くことができ、とても良い刺激を受けました。新任職員一同学んだことをこれからの日々の取り組みに繋げていけるよう頑張ります。

高橋 茂奈美（職員）

新任研修に参加して No.2

みぬま福祉会で働き始めてから、もうすぐ3ヶ月が経とうとしています。今回行われた新任研修では、他の施設の取り組みや、みぬまの歴史を学びました。今、こうして当たり前のようのみぬま福祉会の中で働いていますが、これまでの歴史を知ることと責任と誇りを感じています。また、大地からは岩崎哲也さんと土屋莉恵さんが会場に足を運んでくれ、新任職員の前でお話をしてくれました。私はそのお話を聞いて嬉しく思いました。その気持ちを返せるようにもっと仲間のために頑張ろうという気持ちになりました。

また、新任研修ということで同期の方々と会い、他の施設の話聞くことで、とても励みになりました。今回学んだことを活かして今後も努めたいと思います。

小原 陵太（職員）

救急法に参加して

6月21日（水）交流スペースにて普通救命講習が行なわれました。各施設から職員が集まり受講しました。

始めはDVDを視聴し、救急法の重要性や心肺蘇生・AEDを行なう際の具体的な流れ等を確認しました。DVDを観た後は3つのグループに分かれ、マネキンを使って練習を行ないました。急病人の発見、周囲の安全確認、急病人への呼びかけ、救急車・AEDの要請等、実際の現場を想定した練習でそれぞれが緊張感を持ちながら行なっていました。

休憩を挟み、筆記テストと実技テストが行なわれ、みなさん頭を悩ませたり、戸惑う姿も見られましたが全員合格でした！

最後に普通救命講習修了証を頂き、笑顔で講習を終えられました。

安藤 浩子（職員）

「みんなの学校」上映会がされる

6月24日（土）に蓮田市に新しく出来たはすとぴあというホールで蓮田市教職員組合主催の「みんなの学校」という映画の上映会に行きました。大地からも飯島さん、神永さん、菊地さん、関谷さん、石田さんが観に行きました。

子ども達の葛藤しながら成長していく姿にほっこりしたり、それを支える先生、家族、地域の方のチームワークに感動したり、学ぶことがたくさんある映画でした。上映会の前には大地で試写会を行なったので観た仲間もたくさんいるかと思えます。会場で観た飯島さんは「なんだか感動しちゃったわ」と観賞後に涙を流していました。

島田 明音（職員）



情勢を共有しよう

「地域包括ケアシステム強化法案」 成立にあたっての声明

きょうされん理事会

「我が事・丸ごと」地域共生社会をめざす、介護保険法の見直しを中心とした「地域包括ケアシステム強化法案」が自由民主党・公明

党・維新の会らの賛成多数をもって成立したことに、わたしたちは強く抗議します。衆議院に続き参議院の審議においても、新たに同法案の課題や問題点が指摘されたにもかかわらず、疑問や不安を多く残したまま可決・成立したことに、落胆すると同時に、強い憤りを感じています。わたしたちが強く抗議する、その理由は以下の3点です。

第一に、衆議院・参議院ともに、あまりに審議が短かったことです。

31本の法律にまたがる一括提案であるにもかかわらず、厚生労働委員会での審議は衆議院で4日間22時間、参議院は3日間16時間でした。あまりに形式的な審議と言わざるをえません。

第二に、障害分野に大きく影響を与える「我が事・丸ごと」政策に関して、ほとんどの質疑に対して明確な答弁がなされなかったことです。例えば、新たな共生型サービスの支援体制や運営基準など、現行水準からの後退への心配の声にもまったく答えられていません。衆議院・参議院の参考人質疑には、高齢・介護の分野から招致されましたが、障害分野から招致された人はいませんでした。

第三に、介護保険制度の利用者負担額の影響を受ける高齢者の生活実態がまったく把握されていないこと、また同法案により障害当事者にどんな影響があるか、明らかにされていない事です。衆議院・参議院の審議を通じて、障害当事者や家族、関係者の不安は解消されるどころか、いっそう大きくなりました。

この3点に共通するのは「当事者不在」であり、障害者権利条約制定の家庭において世界中で共有された「わたしたち抜きに、わたしたちのことを決めないで」がまったく生かされていないということです。

同法案は成立をみましたが、今



後、多くの分野は政令・省令にゆだねられることとなります。わたしたちは引き続き、政省令の検討過程において、審議により明らかになった課題や問題点が解決に向けて着手されるよう、注視し、粘り強く働きかけていきます。



なかまと

みんなの

輪



まりこの 素敵な日常

アートなかまてんにいっ
てきました。おしぼり
アートをしました。ふで
でいろをつけたのがたの
しかったです。
まりこ

た。

みや

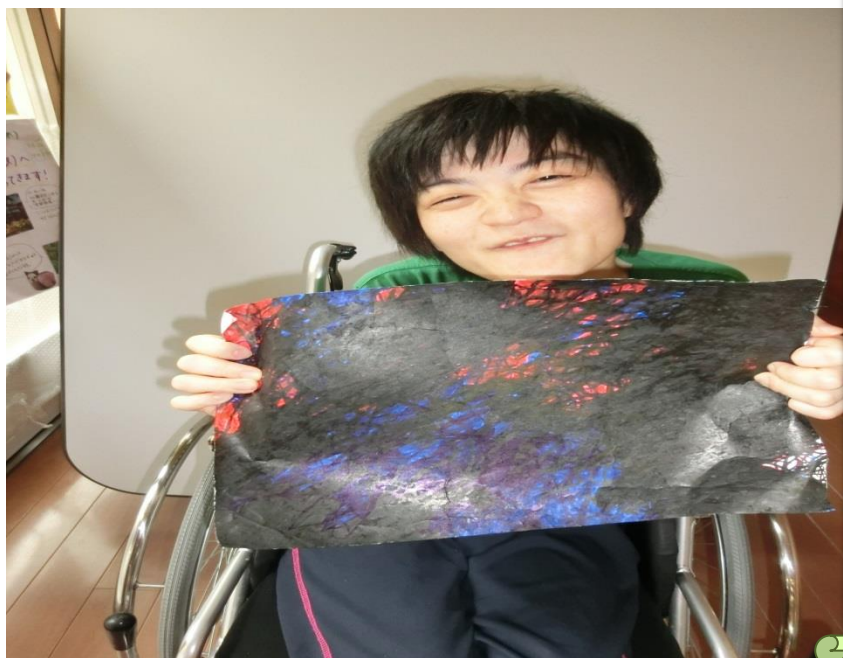
もうとからプレゼントをもらいまし

人でうらわのサティに行きました。い

6月28日はたんじょうびでした。3



ゆかいに したい



土屋莉恵さんの作品
『はな』

おすすめ

みんなの LINKS

ボランティア 募集

ウエス・古本・バザー品の

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力お願いします。

①ボランティア担当（面来、大谷）

②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう
ございました！



岩上めぐみ様

29年6月度に寄付して下さいました

ありがとうございました

大地7月の予定

5	(水)	日帰り旅行 山
6・7	(水・木)	身障協全国大会・高知
7～ 10	(金)～ (月)	風ふう歩作品展
8	(土)	家族会
18	(火)	暮らしの場 全体会 川口太陽の家 10:30～
26	(水)	第11回生活保護違憲訴訟裁判
29	(土)	職員会議

・6月末日、看護師パートの君嶋夕季さん、宿直アルバイトの山口俊介さんが退職されました。
今までありがとうございました。



近野茂治の
今月のイイネ！



安藤くん、念願
だったフェリーに
乗れたんだね！
良きだね～。



島田明音（職員）

こんには！いよいよ第13回風・ふう・歩作品展が近づいてきました。私の担当しているさをりでは、縫製ボランティアさんとの話し合いを行ない、仲間の反物を製品に加工して頂いています。毎年作品展の前にはボランティアさんと仲間が直接顔を合わせてお話しすることは日々の仲間の活動を知って頂く機会にもなっています。仲間が丹精込めて織ったさをりをより良い製品にしようと相談をし、とても素敵に仕上げてくださっています。製品化した物が届くと仲間みんなで見えて「かわいー」「素敵だね」「いくらにしよう？」と話しています。作品展も仲間の日々の成果をたくさんの方に見て頂くことを楽しみにしています。

課業

<広報だいち>広報委員会（職員）面来・北隅・安藤・岡部・小原
（仲間）田村・神永・土屋莉恵・関口・近野